

I 調査結果の概要

1 原料用かんしょ生産費

(1) 平成17年産原料用かんしょの10a当たり資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は12万2,618円で、前年に比べ0.1%増加し、100kg当たり全算入生産費は3,715円で、10a当たり収量が増加したことから前年に比べ2.0%減少した。

(2) 10a当たり全算入生産費が増加したのは、労働時間の減少により労働費が減少したものの、農業薬剤費や農機具費等が増加したことによる。

(3) 10a当たり粗収益は、収量が増加したことにより、2.3%増加の10万4,299円となった。

図1 主要費目の構成割合（10a当たり）

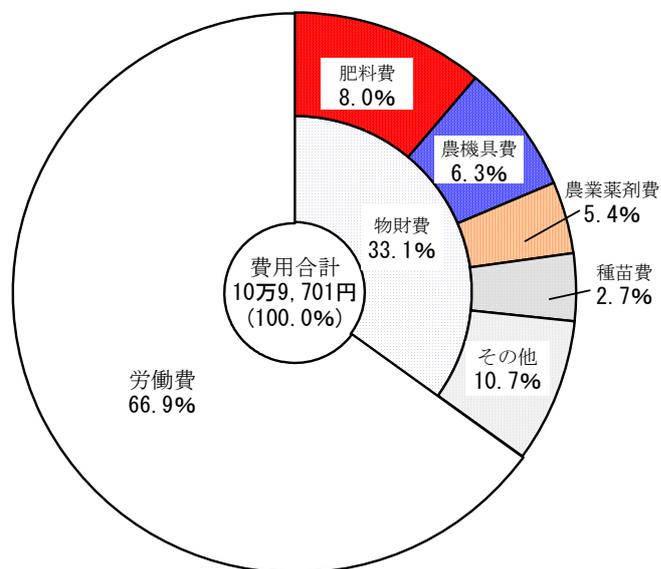


表1 原料用かんしょの生産費及び収益性

区 分		10 a 当 たり		100 kg 当 たり	
		実 数	対前年増減率	実 数	対前年増減率
		円	%	円	%
生 産 費	物 財 費	36 307	5.7	1 101	3.7
	労 働 費	73 394	△ 2.7	2 222	△ 4.9
	費 用 合 計	109 701	△ 0.1	3 323	△ 2.2
	生産費（副産物価額差引）	109 701	△ 0.1	3 323	△ 2.2
	支払利子・地代算入生産費	112 667	△ 0.4	3 413	△ 2.5
	資本利子・地代全額算入生産費	122 618	0.1	3 715	△ 2.0
収 量		3 301 kg	2.2	-	-
粗 収 益		104 299	2.3	-	-

2 原料用ばれいしょ生産費

(1) 平成17年産原料用ばれいしょの10 a 当たり全算入生産費は7万773円で、前年に比べ0.9%減少し、100kg当たり全算入生産費は1,621円で、10 a 当たり収量が減少したことから前年に比べ2.5%増加した。

(2) 10 a 当たり全算入生産費が減少したのは、種苗費や肥料費は増加したものの、農機具償却費の減少や、労働時間の減少により労働費が減少したことによる。

(3) 10 a 当たり粗収益は、収量が減少したことにより、4.2%減少の7万7,584円となった。

図2 主要費目の構成割合（10 a 当たり）

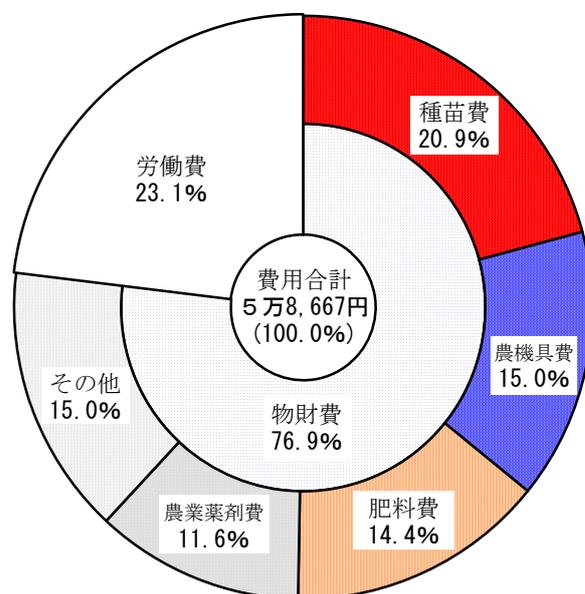


表2 原料用ばれいしょの生産費及び収益性

区分	10 a 当たり		100 kg 当たり		
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率	
	円	%	円	%	
生産費	物財費	45 097	△ 0.6	1 033	3.1
	労働費	13 570	△ 2.2	310	0.3
	費用合計	58 667	△ 1.0	1 343	2.4
	生産費（副産物価額差引）	58 667	△ 1.0	1 343	2.4
	支払利子・地代算入生産費	61 374	△ 0.5	1 405	2.9
	資本利子・地代全額算入生産費	70 773	△ 0.9	1 621	2.5
粗収	収量	4 367 kg	△ 3.0	-	-
	粗収益	77 584	△ 4.2	-	-

3 てんさい生産費

(1) 平成17年産てんさいの10 a 当たり全算入生産費は9万5,813円で、前年に比べ0.7%増加し、1 t 当たり全算入生産費は1万5,580円で、10 a 当たり収量が史上最高であった前年に比べ減少したことから前年に比べ11.1%増加した。

(2) 10 a 当たり全算入生産費が増加したのは、労働時間の減少から労働費が減少したものの、肥料価格の上昇により肥料費が増加したことや除草剤の使用量の増加により農業薬剤費が増加したことなどによる。

(3) 10 a 当たり粗収益は、収量が減少したこと等により13.5%減少の10万1,297円となった。

図3 主要費目の構成割合（10 a 当たり）

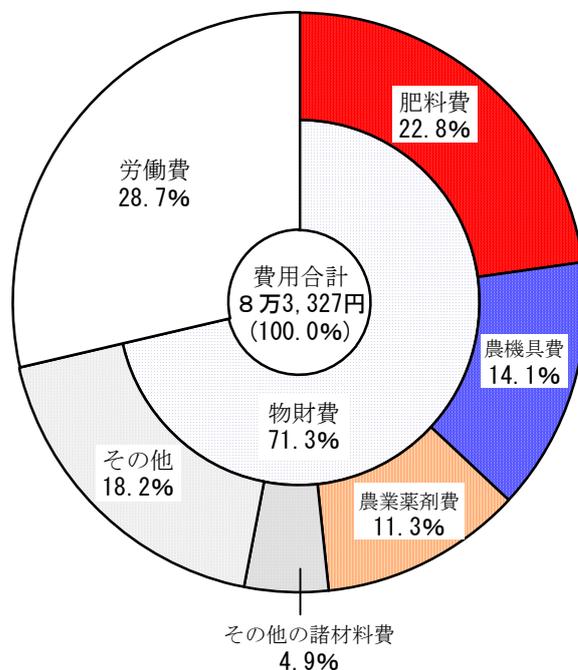


表3 てんさいの生産費及び収益性

区 分		10 a 当 たり		1 t 当 たり	
		実 数	対前年増減率	実 数	対前年増減率
		円	%	円	%
生 産 費	物 財 費	59 432	2.9	9 664	13.5
	労 働 費	23 895	△ 4.1	3 886	5.8
	費 用 合 計	83 327	0.8	13 550	11.2
	生産費（副産物価額差引）	83 327	0.8	13 550	11.2
	支払利子・地代算入生産費	86 532	1.1	14 071	11.5
	資本利子・地代全額算入生産費	95 813	0.7	15 580	11.1
収 粗	収 量	6 150 kg	△ 9.3	-	-
	収 益	101 297	△ 13.5	-	-

4 大豆生産費

図4 主要費目の構成割合（10a当たり）

(1) 平成17年産大豆の10a当たり全算入生産費は6万4,913円で、前年に比べ0.5%減少し、60kg当たり全算入生産費は2万1,884円で、10a当たり収量が大幅に増加したことから前年に比べ22.3%減少した。

(2) 10a当たり全算入生産費が減少したのは、賃借料及び料金、種苗費、光熱動力費等が増加したものの、規模の拡大等による労働時間の減少から労働費が減少したことによる。

(3) 10a当たり粗収益は、収量が増加したものの、価格が低下したことにより、7.4%減少の4万2,152円となった。

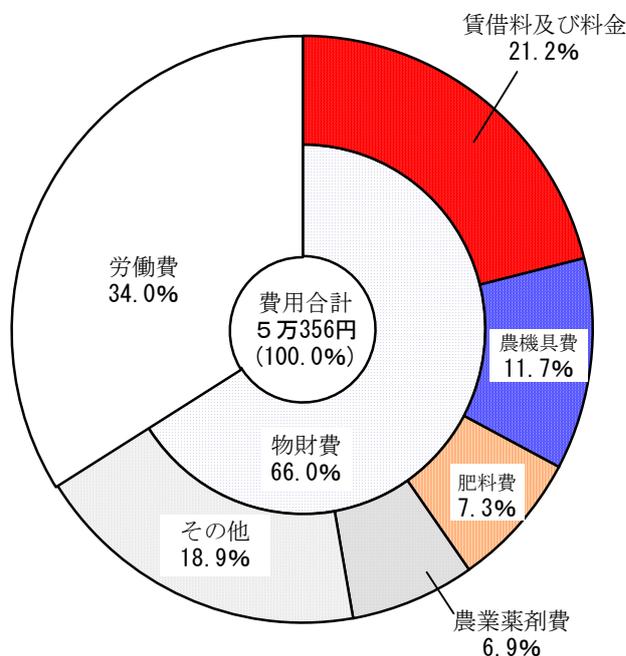


表4 大豆の生産費及び収益性

区分	10 a 当たり		60 kg 当たり		
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率	
	円	%	円	%	
生産費	物財費	33 246	2.7	11 209	△ 19.8
	労働費	17 110	△ 6.7	5 767	△ 27.1
	費用合計	50 356	△ 0.7	16 976	△ 22.4
	生産費（副産物価額差引）	50 208	△ 0.5	16 926	△ 22.4
	支払利子・地代算入生産費	56 422	0.2	19 021	△ 21.8
	資本利子・地代全額算入生産費	64 913	△ 0.5	21 884	△ 22.3
粗収	収量	177 kg	27.3	-	-
	粗収	42 152	△ 7.4	-	-

5 さとうきび生産費

(1) 平成17年産さとうきびの10 a 当たり全算入生産費は17万561円で、前年に比べ0.7%増加し、1 t 当たり全算入生産費は2万8,352円で、台風により大きく減少した前年産に比べ10 a 当たり収量が増加したことにより前年に比べ9.9%減少した。

(2) 10 a 当たり全算入生産費が増加したのは、労働時間の減少により労働費が減少したものの、賃借料及び料金、光熱動力費等が増加したことによる。

(3) 10 a 当たり粗収益は、収量が増加したことに加え、糖度が上昇したことにより16.3%増加の12万4,956円となった。

図5 主要費目の構成割合（10 a 当たり）

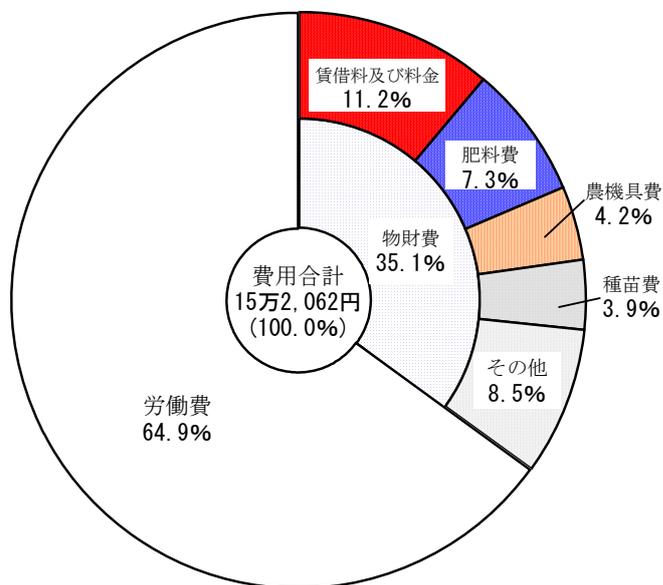


表5 さとうきびの生産費及び収益性

区 分	10 a 当 たり		1 t 当 たり	
	実 数	対前年増減率	実 数	対前年増減率
	円	%	円	%
物 財 費	53 445	5.4	8 885	△ 5.7
生 労 働 費	98 617	△ 1.1	16 393	△ 11.4
費 用 合 計	152 062	1.1	25 278	△ 9.5
産 生 産 費（副産物価額差引）	151 824	1.0	25 239	△ 9.5
支 払 利 子・地代算入生産費	157 447	0.8	26 173	△ 9.7
資 本 利 子・地代全額算入生産費	170 561	0.7	28 352	△ 9.9
収 量	6 015 kg	11.7	-	-
粗 収 益	124 956	16.3	-	-